

議事録

令和6年度第4回 西東京市立向台小学校 学校運営協議会（要点記録）
日時：令和7年2月25日(火) 10時50分～13時00分 場所：向台小学校ランチルーム 出席：青木 秀雄委員、新井 浅浩委員、石沢 直人委員、菊屋 美恵子委員、 鈴木 壮平委員、手塚 葉子委員、備後 亜沙美委員 欠席：尾林 和子委員
委員7名の出席により本会議は成立 1 授業参観 A グループ(鈴木校長先導)：菊屋委員 B グループ(茅野副校長先導)：手塚委員、備後委員 C グループ(白石先導)：青木委員、石沢委員
2 協議等 議事録は要点記録とする。記録は白石主幹教諭に依頼する。 (1)第3回会議録の確認 (修正事項等の確認を行い、会議録は承認された。) (2)校長挨拶 ◇今年度最後の学校運営協議会。本日は学校関係者評価をいただく。忌憚のない意見をお願いしたい。 ◇西東京ふるさと探究学習の研究発表について ◆2月7日に西東京ふるさと探究学習の研究発表を行った。西東京市から指定を受け、2年間研究を行った。市内18校から230名程の参加をいただいた。 ◆当日は1年生から6年生まで、話し合い形式の授業を行った。子どもたちは探究課題を自分事として捉え、話し合いに臨んでいた。 ◆本研究では、子どもたちがよく考えて課題を設定した。この課題設定を大切にして一年間学習を進めてきた。学習を通して、延べ100名を超える地域の方々の協力をいただいた。地域連携が大切な今、これだけの協力を得られたことが成果である。これは備後委員がマネジメントしてくださる地域コーディネーターの力が大きく寄与している。 ◆ふるさと探究は西東京市の重要な施策の一つである。研究発表にて成果を示すことができよかった。課題は地域人材の連携・活用を次年度以降も継続していくことである。 ◇学習作品展について ◆子どもたちが自分の思いを、作品を通して表現する大切な場である。今週木曜日、金曜日の5校時に学校公開を設定した。公開授業参観後、作品を鑑賞いただき、その後保護者会とい

う流れにした。作品展は土曜日も開催する。ぜひご鑑賞ください。

(3)令和6年度学校評価 学校関係者評価

◆本日の資料は事前に送付したものと同一。

◆学校評価は学校教育法で義務付けられている評価である。この場を学校評価の協議の場とする。皆様からいただいたご意見を基に学校評価書を作成し、市教育委員会に報告、学校ホームページを通して公表となる。

◆前提として、今年度の評価項目が、今年度の取り組みと合致していないところもある。分析については昨年度と同様、児童・保護者・教職員アンケートの結果を基に行った。

【委員より】

◇確かな学力について

◆学習スタンダードは学校ホームページにも公開されているものである。これを各教員が徹底したからこそ、授業公開や研究授業で参観した際、子どもたちと教員が学び合っていると感じた。

◆自分の時代と異なり、子どもたち同士が話し合いをする場面がとて多い。タブレット端末を学習に上手に取り入れていると感じた。

◆ねらいを提示し、それに向かって取り組むようにしているとのことだが、必ずしも全教室ねらいを提示していないように見えた。

➡教員の意識ではねらいを示しているが、実際は明示されていない場合がある。それはスタンダードとしては反することになるが、厳密には管理していない。

(委員より)

◆ねらいは教員が考えているのか。

➡授業の内容、展開等により教員が考える場合もあるし、児童自ら設定することもある。

◆授業参観をするたびに、子どもたちが落ち着いて学習に取り組んでいることが伝わりとても素晴らしい。95%の保護者が学校の基礎学力向上の取組に肯定的という点が素晴らしい。コロナ後にタブレット端末を活用しての学習が本格化し、学習環境が一気に変わったと思う。

➡ICTについては、子どもたちにとって学習ツールの一つとなってきたように思う。これまでは導入期で「まずは使ってみる」ことが優先された。今後はどのような場面で活用することが効果的なのか、学校で考えていくことが問われる。子どもたちがタブレット端末を活用して学習に取り組んでいるように見えて、実は思考できていない場面も見受けられる。これを変えていく。

◆児童の視力が低下しているように思う。タブレット端末の影響を受けているのではないか。廊下の掲示物は全てアナログであった。タブレット端末では絶対にできないことであり、手でなければ作れないものをこれからも大切にしてほしい。手作りの作品を通して、子どもたち同士が交流し合うことを、タブレット等の機器が発達しても大切にしてほしい。

➡学校保健委員会が3月に開催されるのでぜひ話題にしたい。アナログの大切さについて同感である。体をしっかりと使った学習を大切にしたい。ICTがあるからそれでいいよね、という問題にはしたくない。

◇豊かな人間性について

◆高学年の取り組む姿を見て、低学年の子どもたちが「自分も将来こうなりたい。」と自分事として捉えていることが素晴らしい。以前の運動会にて、七頭舞（ななずまい）をしていた6年生を見て、低学年の子どもたちはあこがれをもった。ぜひ6年生による七頭舞を復活してほしいと思う。

◆道徳の公開講座を参観し、全校でしっかりと取り組んでいると思った。年間 35 時間授業を行うことは大変ではと思うが、実際に実施できているのか。

➡教科の一つであり、週案簿上で実施状況をしっかりと管理している。

◆90%の子どもたちが「学校が楽しい」と答えている。これは大変良いことである。道徳は基本中の基本である。低学年のうちからしっかりと身に付けてほしい。向台の子は挨拶をしっかりとしてくれる。とても素晴らしいと思う。視力について、子どもだけでなく大人も低下しているように思う。子どもはタブレット端末、大人はスマートフォン。ずっと画面を見続けている世の中なのかなと思う。スマートフォンを見ながら会話する場面、親が赤ちゃんにスマートフォンの動画を見せる場面をよく目にする。

◇総合的な体力について

◆息子は朝遊びを楽しみにして登校している。日中の休み時間は校庭の使用に制限があるが、朝はのびのびと遊ぶことができ嬉しい。休日の校庭開放も嬉しい。子どもたちは体を動かして発散するからこそ、学習にも集中できるのではないかと。保護者としては嬉しい限りだが、この裏で教職員が大変な思いをしていなければよいのだが。

◆朝遊びの様子を視察したが、予想以上に多くの子どもたちが参加しており驚いた。小さいボールを使ってサッカーをする子どもたちがおり、その遊び方の工夫に驚いた。大学生や副校長先生が見守ってくださるが、子どもたちの数に対して見守る大人が少ないように思う。武蔵野市は毎日朝遊びを実施している。校庭開放の皆さんは朝も勤務している。放課後は無理でも、朝ならば参加できるという保護者・地域の方がいらっしゃるのではないかと。

➡大人は1～2名、有償の学生ボランティアが来ている。放課後については、現在校庭開放の団体と調整を行っている。朝、週1日だけでも来てくれるように交渉中である。大きなボールはぶつかる危険があるため、小さなボールを用意したが、この小さなボールでサッカーをする。工夫して遊ぶ子どもたちをたくましく思う。これだけ多くの子どもたちがいる中で、子どもたちはきまりを守って遊んでいる点が素晴らしい。向台の子どもたちだからこそできることなのかもしれない。

（委員より）

◆苦情等は来ていませんか。

➡朝遊びについてはない。日曜日等の校庭開放については若干あるとのこと。

◇健全育成について

◆保護者の70%が肯定的評価である。学校は丁寧に行っている。向台は学校ホームページも毎日更新している。今後も情報発信を続けてほしい。

◆この評価項目のなかで「分からない」と回答した保護者について、「自分の子どもは何事も無いから分からない」のか、「実際に分からない」のか、どちらなのか気になるところである。いじめは絶対にしてはいけないという項目について、現在95%だが100%になることを願っている。

◆保護者がアンケートに回答してくれること自体がいいことである。だからこそ、アンケートの回答率を上げる取組をしてほしい。

➡保護者に学校の実情を伝えることが課題である。子どものよいこと、そうでないことについて、いずれにしても教員はよく電話している。

(委員より)

◆例えば学年便りに、輪番でよいので学級の様子を記載してくれると嬉しい。親としては学期に一回でもよいから学級の状況を知りたい。

➡学年便り、学校便りの内容を精査するところから始めたい。学校便りの中に学年の様子を伝えられる場をつくる等したい。ICTを有効活用していきたい。

◇業務改善について

◆「西東京あったか先生」、これが先生達にとって指導の妨げにはならないのだろうか。「児童を叱らないことがあったか先生」と勘違いしていないか。叱ったら保護者は「あったか先生ではない」と学校に苦情を入れてしまう。「厳しく指導してくれるのもあったかなんだ」と理解してほしいと願っている。コンセプト自体はとてもよいと考えている。

➡先日、あったか先生について市教育委員会が全教員、全児童にアンケート調査を行った。教員の人気評価とならないよう、実施前に全校朝会にて、校長から向台で関わったすべての教員について評価してほしいと話をした。このアンケートが教員にとって心理的負担になればよいと願っている。あったかの趣旨を大人も子どもも、皆で理解しより良い方向に向かうようにしていきたい。

(委員より)

◆叱り方はとても難しいと思う。保護者が子に嫌われたくないので叱らない。つまり子どもは叱られ慣れていないことが背景にあると思う。

◆学校連絡アプリは有効のように思うが、業務改善につながっているか。

➡教員の負担軽減に直接の影響はないが、教員の印刷業務等を支援するスクールサポートスタッフの負担軽減となっており、結果としてこのスタッフが教員のために動くことができ

るのでよいと思う。会議の精選等進めているが、本来教員がやるべきことまで軽減しないように気を付けたいと考えている。

- ◆向台は連絡ツールとして学校関係は「すぐー」、PTA 関係は「ミマモルメ」で分けている点が良い。

(4)令和7年度について

◇学校運営協議会委員について

- ◆石沢委員については、次年度の PTA 会長に引継。その他の委員の皆様については、次年度も継続いただけると承諾いただいている。改めてよろしくお願いします。

◇学校運営協議会の開催回数について

- ◆4 回から 5 回に増やしたい。時期については学期始めと学期終わりに開催させてほしい。課題等共有し、振り返りをし、次学期につなげたいと考えている。
- ◆今年度は火曜日のみの開催であったが、次年度は火曜日、水曜日、木曜日に設定したい。開始時刻は新生活時程に合わせて設定する。
- ◆授業参観は無しにしたい。学校公開等を参観してほしい。本会議の時間を確保したい。
- ◆給食の試食の依頼をいただいた。次年度 1 回設定をしたい。

◇都民の日について

- ◆都民の日を児童の休みの日としたい。「地域との連携の日」のようにして、子どもたちが地域と触れ合えるようにしたい。都民の日は様々な施設が無料になることも考慮している。なお学童は朝から受け入れをしてくれるとのこと。
- ◆例えば今年度は 7 月の土曜日にオヤジの会がイベントをしているが、これを都民の日に設定する等できるといいなと考えている。
- ◆次年度、都民の日を休みにする予定の学校は向台だけであるとのこと。教育委員会に意図を伝えたところ、理解了承を得ることはできている。

◇運動会について

- ◆児童鑑賞日、保護者鑑賞日を設定する。児童鑑賞日は全学年の演技競技等を、児童全員が外に出て、皆で応援し合うことができるようにする。保護者鑑賞日は発表学年の児童の演技競技等を皆様に見ていただけるようにする。

(5)その他

- ◆学校公開及び学習作品展を今週末に開催する。ぜひ参観してほしい。

(石沢委員より任期満了の挨拶)

- ◆とても素晴らしい経験をすることができた。保護者だと自分の子のクラスしか見ないが、今回すべてのクラスを保護者の立場でなく、客観的立場で見て、考えることができた。

◆冷水機を導入することができた。あと3台導入できればいいなと願っている。今回導入する冷水器は冷水機能の他に浄水機能も付いている。子どもたちの環境改善につながるきっかけをつくることができたと思う。今後も息子ともどもよろしくお願いします。ありがとうございました。

以上で本日の協議項目は終了した。

その他、連絡事項について何かあるか。

(特になし)

会議録は作成後に改めて確認していただき正式決定とする。

以上で令和6年度第4回西東京市立向台小学校 学校運営協議会を終了する。